

事業番号	事務事業名	小規模水道事業	所管課名	上下水道課	令和 3 年度課長名	中西 豊久
02230	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	水道係	担当者・シート作成者	廣澤 秀樹
	施策名	47 上下水道の整備	根拠法令等	鏡野町小規模水道事業補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☒ 単年度繰返し ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度) ☐ 単年度のみ	鏡野町水道事業の給水区域以外の地区住民に対し、生活環境の改善を図ることを目的とし、小規模水道事業の設置に対し補助金を交付する。	町村合併前の上齋原村・富村で交付実績があり、合併後も水道未普及地区が残るため要綱も残したもの。(全町対象)

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 水道未普及地区	→ ア 水道未普及地区数	地区	見込 実績	4 4	4 4	4 4	4 4	4 4
イ	→ イ		見込 実績					
ウ	→ ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 正常な飲料水の確保	→ ア 補助対象者数	人	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	4 2 50.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%
イ	→ イ		目標 実績 達成率					
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 補助金交付	→ ア 補助金交付件数	件	目標 実績 達成率	2 1 50.0%	4 1 25.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%
イ	→ イ		目標 実績 達成率					
ウ	→ ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名				事業番号
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		23	01	小規模水道事業				02230
予算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,500	3,000	750	750	750	-2,250	一般財源	940	218		750	750	-218		
合計	1,500	3,000	750	750	750	-2,250	合計(A)	940	218		750	750	-218		
財源名称						従事正職員人数		1	1	1	1	1			
						延べ業務事務時間		5	5	5	5	5			
						人件費計(千円)(B)		18	17	17	17	17	0		
	最終予算額	750 千円		予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)		958	235	17	767	767	-218	
主 な 支出事業内容 (予 算)	補助金			750 千円			主 な 支出事業内容 (決 算)	補助金			0 千円				

事業番号	02230	事務事業名	小規模水道事業	所管課名	上下水道課
------	-------	-------	---------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
未普及地において、必要性は増している。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
水道の給水区域外の地域又は個人に対し、予算の範囲内で水道施設整備費の補助を行う。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか？
議会から給水区域外者に対し、必要な助成を行い町民の生活環境の均衡を図るよう意見がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか？意図することが結果に結びついているか？)		
	☐ 見直し余地がある	理由 説明	
	☒ 結びついている		
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか？税金を投入して行うべき事業か？住民や地域民間等に任せることはできないか？)		
	☐ 見直し余地がある	理由 説明	利益を受ける町民の平等性を考慮して行う事業である。
	☒ 妥当である		
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか？)			
☐ 見直し余地がある	理由 説明	給水管布設事業の費用対効果により発生する事象であり、やむを得ないとする。	
☒ 適切である			
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか？成果を向上させる有効な手段はないか？何が原因で成果が向上しないのか？)		
	☐ 向上余地がある	理由 説明	申請者の要望に応え予算の範囲で対応している。
	☒ 目標水準に達している		
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は？目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？)		
	☐ 影響がない	理由 説明	町民への平等性等に大きく差が発生してくる。
	☒ 影響がある		
	⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか？)		
	☐ 改善余地がある	理由 説明	
☒ 改善余地がない			
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか？)		
	☐ 削減余地がある	理由 説明	限度額に対する1/2補助制度であり、必要限度の事業費となっている。
	☐ 削減余地がない		
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか？)		
☐ 削減余地がある	理由 説明		
☒ 削減余地がない			
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか？受益者負担は公平・公正となっているか？)		
	☐ 見直し余地がある	理由 説明	水道給水区域から外れた地区及び個人への救済事業である。
	☒ 公平・公正である		

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果			②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直しの余地あり			適切な対応と考えている。																							
B 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直しの余地あり																										
C 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直しの余地あり																										
D 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直しの余地あり																										
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			④担当課としての事業の方針																							
☐ 拡充 ☒ 現状維持		今後の改革改善案		<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
								コスト																		
		削減	維持			増加																				
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
☐ 目的再設定 ☐ 改善																										
☐ 休止・廃止 ☐ 事業完了																										
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題				(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																						

(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)